

5月に金パラ点数が変わります

国は、歯科用金銀パラジウム合金等の市場価格の高騰に対応するため、5月に歯科用貴金属材料価格の「緊急改定」を行うこととなりました。

ロシアのウクライナ侵攻によるパラジウム等の金属価格の高騰に対し、長崎県保険医協会が3月10日、国に「ウクライナ情勢で急騰する金パラ価格について緊急対応を」の声明を提出するなど、保団連をはじめ全国の保険医協会からも同様の声が国に集まっていたところです。また署名運動を通して、歯科医療機関が逆ザヤ解消への大きな圧力を国が感じていたことが緊急改定の運びとなった要因と思われます。

この4月には昨年12月までの素材価格を基準に改定を行ったばかりであり、来る7月には今年1月から4月までの素材価格を基準に改定を行うはずでした。今回の緊急改定は計算式はそのまま、1月から3月までの素材価格を基準に行われます。

緊急改定によって金パラ関連の点数はアップとなりますが、現在の算出方法は市場価格の後追いをすることになるので、市場価格の上昇局面においては、算出される点数では逆ザヤを解消できません。協会としては、今後も引き続き、「逆ザヤ補填方式」による公定価格の改定を要求していきます。

長崎県保険医協会（電話095-825-3829）

	金パラ合金の告示価格 (1g当たり)	金パラの点数 FMC（大臼歯）の場合
2021年10月	2951円	1493点
2022年 4月	3149円	1562点
2022年 5月	3413円	1655点 （推測）

【お願い】 協会 5月連休後に納入価格調査実施

協会では、納入価格と公示価格の差額を調査する「金パラ逆ザヤシュミレータ」に取り組んできました。4月改定及び5月緊急改定が実態に即しているのかを調査し、改善運動の一助にできればと願っております。ぜひご協力をお願いいたします。